

河井弥八記念館に寄せて

旧河井邸の跡地に、南郷生涯学習センターと河井弥八記念館が同時に開設・開館出来たことは、誠に喜ばしい。

1 1代河井重友氏の遺志を継いで、1 2代河井修氏は地域住民に有効活用されることを願って、掛川市に土地、建物、所蔵品を寄付された。

母屋建物は老朽化もあって取り壊されたが、離れ座敷と蔵は利用価値有りとして残された。数年を経て、旧河井邸のこの地に、南郷地域生涯学習センターを建設する動きが起きると共に、寄贈された所蔵品も多数あることから、蔵を記念館にして河井家を顕彰しようという動きも起こった。

河井重蔵、河井弥八父子は勿論、その先代も郷土、国家のために尽くした人であり、その業績は地元にとっても誇れるものである。

寄贈された資料は膨大な数で、江戸時代、明治、大正、昭和に至るものが残されている。特に弥八氏の宮中や国政に関わった弥八日記は、研究者にとっては価値の高いものだという。これら河井家の資料展示を通して、それぞれの時代に生きた河井家の人々の活躍や業績を理解することが、何より河井家の人々への顕彰になると考えている。

尚、館名に「河井弥八」を名乗ったのは、一般にその名が広く知られていると考えたからである。

平成24年3月吉日

河井弥八記念館